

支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和7年11月10日

事業実施地区	浅川地区
事業名	地域福祉活動効率化事業
団体名及び 代表者名	(団体名) 浅川社会福祉協議会 (代表者名) 松木 基浩 (連絡先) 026-262-1362

■事業概要（選考委員会の助言を含む）

当会で年間を通して複数回実施している大規模な事業の際、役員間の伝達事項を共有するために時間と労力が割かれている。 トランシーバーを導入することにより、瞬時に役員間の情報伝達が可能になるため、館内の様々な場所にいる役員が探し合う時間・そのために持ち場を離れる時間がなくなり、事業運営がより円滑になる。 地域福祉活動に関わる役員の高齢化と担い手不足は深刻な問題であるが、事業運営にあたっての体力的な負担を軽減することで現役役員が長く活動に携われる環境を作る。	【事業完了日】 令和7年10月28日 【総事業費】 141,900円 【補助金額】 100,000円
---	---

※活動状況や備品の表示がわかる写真・成果物等を別途添付

■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

10月28日に実施された「ふれあい会食会」では4名の役員が携行し、1か所に常設した。 長野市浅川公民館の全館を使用し、運営スタッフ25名・参加者57名が集まる事業で主要役員が持ち場を離れずに情報共有ができることは、他の運営スタッフの業務にも好影響であった。 また、情報伝達のために体力を消耗することがなくなり、同日に同一役員に関わる別事業を実施する余裕が生まれた。
--

※参加人数等、数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載をお願いします。

■事業評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の内容			○	
事業の効果			○	
特記事項 （評価理由等）	主要役員数に対してトランシーバーの台数が少ないため、機器をどこにどのように配置するのがより効果的であるかを検証する必要がある			

■今後の取組予定

地域福祉活動に関わる事業で積極的に使用していく。 主だって事業を運営する浅川社会福祉協議会役員に体力的・精神的な余裕がうまれることにより、福祉推進員ほか地域福祉活動に携わる委員への一層きめ細やかなフォローが可能になる。 地域福祉に携わる委員の経験を「大変だった記憶」にさせないことが、中長期的な地域福祉活動の充実につながると考える。
--





